

1 単元名 Fリーグ 2013ステージ（球技 ハンドボール）

2 目標

- パスやドリブルなどボールを操作しながら、その動きに応じた攻防ができるようにする。 (技能)
- 役割を分担するなど、仲間と協力して安全に練習やゲームに取り組み、相手を尊重してプレーしようとする。 (態度)
- 得点を取るための作戦を立て、学習の進め方や簡易なルール、審判の仕方を知り、練習やゲームの運営ができるようにする。 (知識、思考・判断)

3 指導に当たって（男子\*名、女子\*名 計\*名）

(1) 生徒の実態

ハンドボールは中学校からの種目であり、初めて行う球技に興味関心が高い。手でボールを扱う球技のため、容易に取り組むことができるが、投動作や空間に走りこむ動きは個人差が大きく、ゴール前での攻防が展開されないことが多い。

(2) 教材観

球技におけるゲームでのパフォーマンスは、一人一人の生徒のドリブルやパスなど「ボールを操作する技術」とスペースやゴール前に走りこむ「ボールを持たないときの動き」によって大きく変わる。ルールや相手を尊重しながらフェアプレーすることやチームの力に応じた作戦を立てながら得点を競い合うところ楽しさや喜びを味わうことができるスポーツである。

(3) 指導観

第1学年では、まず、ボール操作になれることにポイントを置き、毎時間始めに一定時間内でどれだけボールを操作することができるかドリル的活動を行い、個人的技能の向上を図りたい。そして、ゲームの中では、空間に走りこむ動きを意識させて、ボールをもらうため、シュートを打つためにどのような動きをすれば良いかチームでまとまりをもって考えさせたい。

4 単元の評価規準

	運動の技能	態度	知識、思考・判断
具体的評価規準 学習活動における	① パス・ドリブル・シュートなどのボールの操作がスムーズにできる。 ② 周囲の状況に応じて、 <u>ボールをもらうために動く</u> ことができる。	① 準備や片付けをチームの仲間と <u>協力して行おう</u> とする。 ② ルールや相手を尊重し、フェアにプレーしようとする。	① 学習の進め方を知り、 <u>ルールや審判の方法</u> が分かる。 ② 得点を取るための作戦を考え、ゲームで試すことができる。

5 指導と評価計画

学習のねらい・活動		評価計画		
		技能	態度	知思判
はじめ	<p>○ <u>運動の特性や学習のねらい、進め方を理解する。</u></p> <p>1 学習の特性やねらいを知る。 2 学習の仕方について確認する。 ・評価について ・学習カードについて ・学習資料について</p> <p>3 学習の約束事について確認する。 ・学習のルールとマナー 4 チーム編成をする。 ・ウォームアップドリルと試しのゲーム</p>	}	①	①
なか	<p>○ <u>ルールやゲームの進め方に慣れ、チームで協力してゲームを楽しむ。</u></p> <p>1 集合・整列・あいさつ ・本時の学習内容や学習の進め方を確認する。 2 準備運動、ウォームアップドリルをする。 ・パス ・ドリブル ・シュート</p> <p>3 3対2をする。 ・時間内に何点取れるか、3対2を何度も繰り返す。 4 ゲームをする。 ・4対4のゲームを行う。 5 まとめと整理運動をする。 6 学習を振り返る。</p>			

## 6 本時の指導

### (1) 本時のねらい

パスやドリブルなどの基本的なボールを操作する技能をゲームの中で使うとともに、シュートにつながるようにボールの動きに合わせて動くことができる。(運動の技能)

### (2) 準備・資料 ハンドボール (2人で1つ)、ピブス、作戦ボード (マグネット、マーカー)、学習カード

### (3) 展開 (7/8)

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点・方法
はじめ 5分	1 集合・整列・あいさつをする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の健康観察をする。</li> <li>前時までの反省点を明らかにし、本時の学習内容を確認する。</li> </ul>	
	2 本時のねらいを知る。 ○ シュートにつながるために、ボールを持たない時の動きを考えてゲームを楽しもう。		
なか 37分	3 準備運動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>特につき指をしなないように、指の準備運動は念入りに行う。</li> </ul>	
	4 ウォームアップドリルをする。 ・ ドリブル (1回30秒) (カラーコーンをいくつ回ることができるか) ・ パス (1回1分) (2人1組で何回投げられるか) ・ シュート (1回1分) (1対1で何回入るか)	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウォームアップドリルについては、チームのメンバーでお互いにカウントするようにする。</li> <li>ドリブルは、カラーコーンを外側から回るようにする。誤ってカラーコーンを動かしてしまったときは、チームのメンバーで素早くカラーコーンを直すよう、協力して行う。</li> <li>パスは、相手を取りやすいところに投げたり、とってから素早く投げたりできるようにする。</li> <li>シュートは、1対1で相手をかかわしてシュートできるようにする。1分間なので、シュートしたら次の人、シュートしたら次の人というようにどんどんシュートし、回数を競う。</li> <li>◇ ボール操作が苦手な生徒は、ボールを扱うことが得意な生徒に助言させ、ドリル中に適切なアドバイスをおくことができるようにする。</li> </ul>	<p>&lt;技能①&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ドリブル、パス、シュートなどの基本的なボール操作ができる。</li> </ul> <p>(ウォームアップドリル、観察)</p> <p>&lt;技能②&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>シュートにつながるようボールの動きに合わせて動くことができる。</li> </ul> <p>(ゲーム、観察)</p>
	5 パスゲームをする。 ・ 3対2 (攻撃3守備2) で、1分間に何回パスを回すことができるか、回数を競う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ボール操作が苦手な生徒は、ボールを扱うことが得意な生徒に助言させ、ドリル中に適切なアドバイスをおくことができるようにする。</li> </ul>	
	6 3対2のミニゲームを行う。 ・ 男子6チーム、女子5チームでローテーションしながら、ミニゲームを行う。 ・ 時間内に攻めは何度も攻撃する。守備側が取ったら、攻め側にボールを返す。時間内に何点決めることができたか、を競う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ ボール操作が苦手な生徒は、ボールを扱うことが得意な生徒に助言させ、ドリル中に適切なアドバイスをおくことができるようにする。</li> <li>◇ チームリーダーに、細やかに指示を出させ、ボールが上手く扱えなくても、相手のいないところに移動させるなどする。</li> </ul>	
7 4対4のゲームを行う。 ・ 男子3チーム、女子2チームでゲームを行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇ チームリーダーに、細やかに指示を出させ、ボールが上手く扱えなくても、相手のいないところに移動させるなどする。</li> <li>キーパーを入れて4対4にすることにより、一人一人が動くようになる。ゲームに全員が関わることができるように作戦を立てさせたい。</li> </ul>		
まとめ 8分	8 片付け、整理運動をする。 9 学習の反省と次時の課題を確認する。 ○ ボールを持たない選手は、ボールをもらうためにスペースを見つけて動くことが大切である。	<ul style="list-style-type: none"> <li>生徒の健康観察を行う。(怪我、体調不良者の確認)</li> <li>振り返りカードにより、本時の学習の振り返りをさせる。</li> <li>本時のまとめをする。</li> <li>◇ 「ボールを持たない選手は」から書き出す文章でまとめを書くように支援する。</li> </ul>	

◇は配慮を要する状況にある生徒への手立て